

MVNO って何？

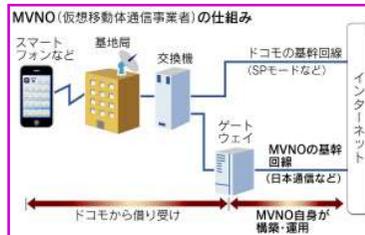
格安スマホ・・・MVNOのすゝめ

通話し放題、パケットし放題プランでスマホ契約している方も多いかと思います。実際のご自分の使用状況を考えて時、「思ったほど通話してないな～、パケット持て余してるな～」。そんなことを感じたことのある方に、是非活用していただきたい「スマホ料金節約法」。最近、何かと話題になることも多い「MVNO」が今回のテーマです。

MVNOって？

MVNOとは、他社の携帯電話回線やデータ回線を借りてサービスを行う事業者のことを言います。(Mobile Virtual Network Operator: 仮想移動体通信事業者) つまり、自社では通信設備を持たず、大手携帯会社(NTT DoCoMo, KDDI等)の回線を借りて通信サービスを提供する会社のことです。

別名「**格安SIM**」とも呼ばれ、現在では多くの会社が参入し、格安料金で利用できることから注目を浴びているわけです。楽天モバイルやイオンスマホなどが有名ですね。



安さの秘密は・・・

他社の回線を使用するMVNOは、なぜ安くできるのでしょうか？それには以下の理由があるのです。

1. 人件費の節約(ネットでの契約が基本となるため、多くのMVNOは携帯ショップを持っていません)
 2. 高速通信できる通信量が制限されている。(契約データ量を越えると通信速度が遅くなったり、追加料金が必要になる場合があります)
 3. 参入企業の増加により、競争が激化している。
- これらが主な理由とされています。



データ通信料がとにかく安い

では、この格安スマホ。一体なにが安いのでしょうか？それは**データ通信料**が安いんです。携帯大手3社のデータ通信料はおよそ**3,000～8,000円**かかるのに比べ、MVNOでは**1～3GB**の利用であれば、ほとんどの場合**1,000円以下**となります。

データ通信料は格安ですが、電話料金は多くが**30秒20円**と割高になっていますので、通話時間が多い方(ひと月120分超)にはあまり向いていないかもしれません。ただ、LINE、SKYPE、iphoneのFacetime等データ使用のアプリを使って通話する場合は問題ありませんよね。

支払額はどのくらい変わるの？

大手携帯会社スマホの月支払額平均 → およそ**7,000円**
MVNO格安スマホ月支払額平均 → およそ**2,000円**

← 調査会社のアンケート結果です。

一概には言えませんが、ひと月に約5,000円の節約が可能になることも往々にあります。月5,000円、**年で60,000円**の違いが出るとなると考えモノではないでしょうか？

格安スマホの長所・短所

格安スマホは良いことばかりではありません。乗換え前に短所も知っておきましょう。

●長所

- ・とにかく**安い**
- ・**料金プランが豊富**
- 個人の要望に沿えるプラン、サービスはかなり充実しています。
- ・タブレットでも利用可能
- ・MNPが可能(今の番号が使える)

●短所

- ・**通話が割高(30秒20円)**
- ・データ容量に制限あり
- ・携帯メールは使えない(@docomo.ne.jp等)
- ・混雑時は通信速度が落ちやすい

短所に関しては、ある程度の対策は可能です。また、通信速度に関しては今後改善される方向にあります。

1GBで何が出来る？

- 1GBで通信ができる目安です。
- WEB閲覧 (Yahooトップページの場合) 約4,300回
 - テキストメール 約25,000通
 - 動画閲覧 (Youtubeモバイル・標準画質) 約500分
 - インターネット電話 (Skypeの場合) 約1,800分
- 1GBとはいえ、これだけのことができます。

格安スマホでは1GBからのプランがあり、大手携帯会社では2or3GBプランからとなります。

こんな方が得をする

通話・データ共にヘビーユーザーでない限りは、ほとんどの人が節約可能だと思います。

その中でも、自宅にWifi環境が整っていて電話での通話時間もある程度抑えられる方は、次回更新時に**MVNO**に乗り換えることを考えてみてはいかがでしょうか？かなりの節約が見込めますよ。

開発室から

日本列島を襲った寒波で、私の朝はクルマの発掘から始まりました。そんな天候の中、北陸新幹線で東京に行ったのですが、糸魚川駅で車両に付いた雪を落とすために臨時停車しただけで5分ほどの遅れでした。その日の飛行機は第1便が欠航になったそうですから、北陸新幹線の雪への強さが証明されましたね。